

(様式第2号)

令和4年度 第1回島本町特別支援委員会会議録(要点録)

令和4年9月8日作成

会議の名称	第1回島本町特別支援委員会		
会議の開催日時	令和4年8月22日(月)午後2時～3時		
会議の開催場所	島本町役場地階 第五会議室	公開の可否	○可・一部不可・不可
事務局(担当課)	教育推進課	傍聴者数	0人
非公開の理由(非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)			
出席委員	宇城 恵太委員、中小路 隆裕委員、山田 敏博委員長、松本 剛委員、藪田 香織副委員長、加藤 崇委員、永田 千秋委員、砂川 秀治委員 佐々木 淳平教育推進課長、庶務 森 悠介(教育推進課参事)		
会議の議題	・あいさつ (案件) 1. 島本町特別支援委員会規則について 2. 島本町特別支援委員会委員の委嘱に係る辞令交付 3. 委員長及び副委員長の選出 4. 島本町特別支援委員会の運営について 5. 島本町の支援教育と就学相談の現状について 6. 情報提供 7. 今後の予定について		
審議等の内容	別紙のとおり		
配付資料	・島本町特別支援委員会規則 ・令和4年度島本町特別支援委員会委員名簿 ・島本町特別支援委員会実務要領 ・特別支援校内委員会実務要領 ・特別支援審議資料 (様式1) 特別支援校内委員会審議児童生徒名簿 (様式2) 就学、入学及び途中入級に関する意見書 (様式3) 特別支援審議資料(個人記録票) ・特別支援審議資料の記入について ・特別支援についての留意点 ・令和4年度 支援教育に係る事務手続きについて ・令和4年度 特別支援教育の方針について		

令和4年度 第1回島本町特別支援委員会の要点録

日 時 令和4年8月22日(月) 午後2時～3時
場 所 島本町役場地階 第五会議室
出席委員 山田 敏博委員長、藪田 香織副委員長、中小路 隆裕委員、
宇城 恵太委員、
松本 剛委員、加藤 崇委員、永田 千秋委員、砂川 秀治委員
事務局 佐々木 淳平教育推進課長、森 悠介教育推進課参事(庶務)

開 会
あいさつ 佐々木教育推進課長

案 件

- 1 島本町特別支援委員会規則について
(事務局) 趣旨、組織、委員の任期等の確認。
- 2 島本町特別支援委員会委員の委嘱に係る辞令交付
(事務局) 机上配付により、各委員で辞令書を確認。
- 3 委員長、副委員長の選出(委員長：山田委員、副委員長：藪田委員)
(委員長) 『島本町審議会等の会議の公開に関する指針』に基づき、島本町特別支援委員会議も公開の対象になる。『島本町特別支援委員会の公開に関する要項』第3条により、会議の公開は委員長が傍聴を希望する者に許可することにより行う。なお、第2回の会議については、個人情報保護の観点から公開は行わないものとする。本日の傍聴者0名。
- 4 島本町特別支援委員会の運営について
(事務局) 配付資料「島本町特別支援委員会実務要領」「特別支援校内委員会実務要領」「特別支援審議資料」に沿って説明。
- 5 島本町の支援教育と就学相談の現状について、
(事務局) 島本町の支援教育の現状について、説明。
配付資料「令和4年度 特別支援教育の方針について」に沿って、今年度の支援教育における課題と方向性について、3点を挙げた。

- ・ 1点目は、支援学級における障がいの種別に応じた教育課程の編成において、「自立活動の時間における指導」の充実を図ること。
- ・ 2点目は、支援学級在籍児童生徒数の増加傾向にあることを踏まえ、ユニバーサルデザインや合理的配慮といった考え方に沿って、通常の学級での特別支援教育を作り出すとともに、通級指導教室の充実を図ること。
- ・ 3点目は、「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の活用と見直しをすすめ、支援学級担任、通常学級担任、その他関わる全ての教職員が子どもの教育的ニーズや状況を把握し、1年間を見通して「教師と子どもがつながる支援」から「子どもと子どもをつなげる支援」に変えていくこと。

島本町支援教育研究協議会において、研修会や講演会の開催、保幼小中連携推進などに取組み、本町全体の支援教育の充実を図っている。今年度の支援学級の設置状況は、小学校が、知的障がい学級 11 学級、病弱・身体虚弱学級 2 学級、自閉症・情緒障がい学級 18 学級の合計 31 学級で、中学校は、知的障がい学級 3 学級、病弱・身体虚弱学級 3 学級、自閉症・情緒障がい学級 5 学級の合計 11 学級となっている。通級指導教室は、7 月現在、第一小学校通級指導教室に 25 名、第二小学校通級指導教室に 28 名、第三小学校通級指導教室に 20 名、第四小学校通級指導教室 25 名、中学校 10 名の児童生徒が通っている。定期的に「通級会議」を開催し児童生徒の状況や指導内容の把握している。

今年度の就学相談の現状については、現在までに、教育委員会として 65 名の面談及び参観等を行った。その内訳は、幼稚園から 15 名、保育所、保育園、こども園から 50 名である。65 名の保護者が就学相談票を提出されて、就学予定先の小学校において就学相談を進めている。また、中学校及び高校への進学相談も各小中学校で進めている。

6 情報提供

(事務局) 支援学級に在籍する医療的ケア対象児童の状況について報告。

7 今後の予定について

(事務局) 第 2 回の日程及び内容について説明。第 2 回は、令和 4 年 1 2 月 5 日～9 日のいずれかの日程で開催する予定。